



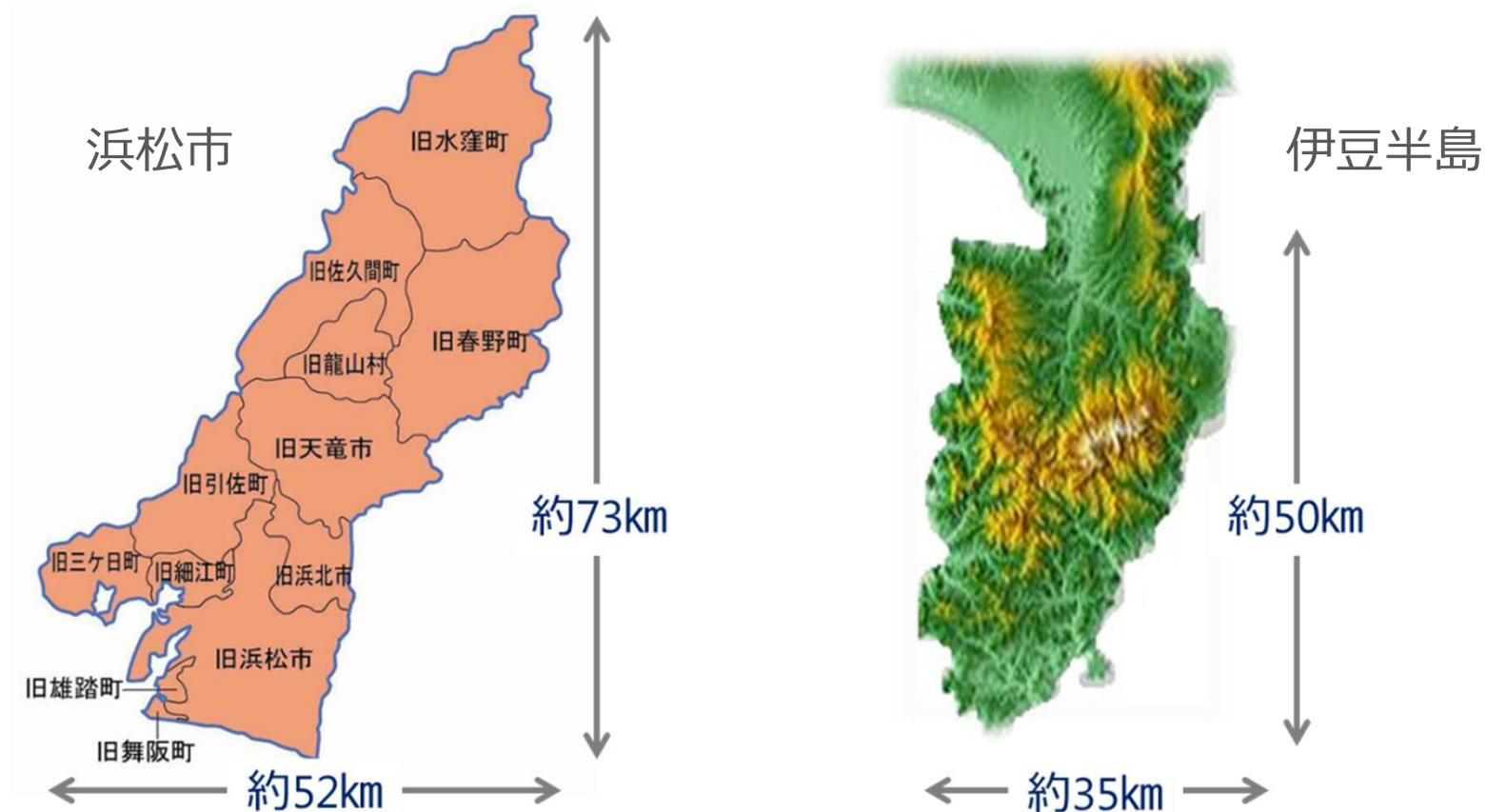
浜松市

全国初

下水道事業への コンセッション方式導入

浜松市上下水道部

浜松市の特徴

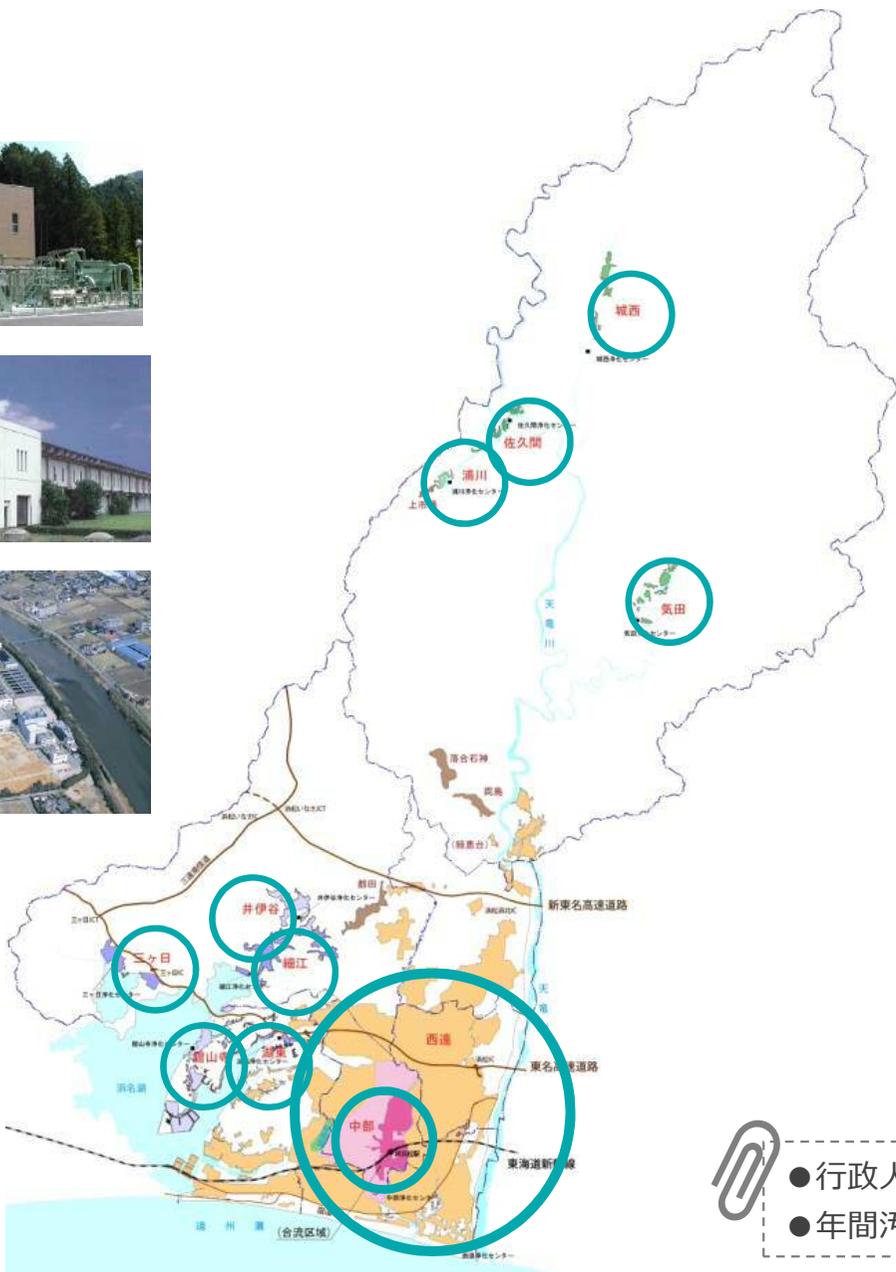


浜松市は国土縮図型都市

浜松市の面積は1,558.06km²、伊豆半島より広い。都市機能や先端技術が集積する都市部、農業が盛んな平野部、水産資源に恵まれた沿岸部、広大な森林資源を擁する中山間地域がある、まさに**国土縮図型都市**である。

その浜松市が、より自立した持続可能な都市となれば、全国のやる気と実力のある市町村にとっての**先行モデル**となる。

浜松市下水道事業の概要



長い管きよ延長**3,590**km

大小様々な**11**の処理区

人口普及率**80.1**%

- ✓ 昭和34年／事業着手
- ✓ 昭和41年／中部浄化センター運転開始（通水）
- ✓ 昭和61年／西遠処理区供用開始
- ✓ 平成17年／12市町村合併（7処理区編入）



- 行政人口806,407人、排水人口646,342人、人口普及率80.1%
- 年間汚水処理量85,770,765m³ ● 管きよ延長3,590.6km（平成28年度下水道事業年報）

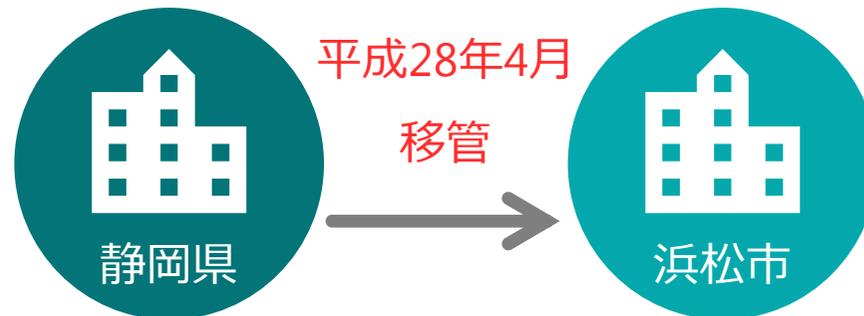
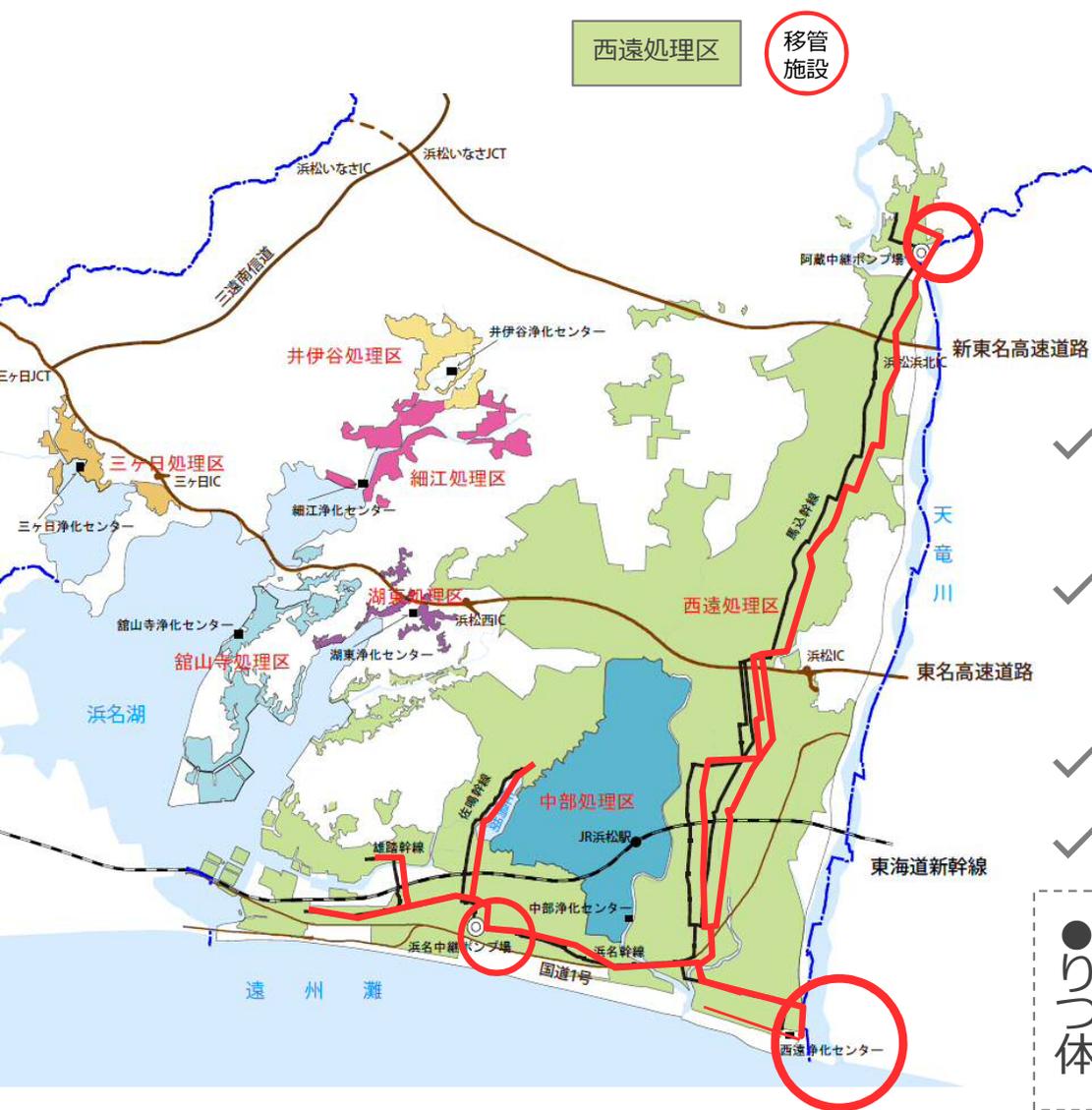
膨らむ更新需要

料金収入の減少

職員減少と技術継承

今後の大量更新時代を迎える中、資金・職員は**減少**する

導入検討



- ✓ 平成17年7月／12市町村合併（7処理区編入）
（西遠流域下水道区域がすべて浜松市に）
- ✓ 平成23年／PFI法改正
（コンセッション方式の制度化）
- ✓ 平成25年度／西遠流域下水道事業調査業務
- ✓ 平成28年4月／静岡県から事業移管

●市では行財政改革の一環として組織のスリム化に取り組んでおり、移管に伴い本処理区に従事する職員について大幅な増員は難しく、事業の効率化のみならず体制補完を目的に導入を検討。

県からの流域下水道移管が発端、新制度に“やらまいか”

西遠浄化センター

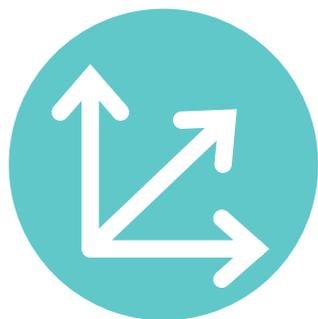


提供：旧静岡県下水道公社



- 供用開始：昭和61年10月
- 処理能力（日最大）：現状...200,000m³/日
- 水処理系列数：現状...4系列
- 処理人口：現在...464,859人（平成28年度末）
- 排除方式...分流式

国、民間事業者等の声に耳を傾けながら、検討した。



事業範囲

- 対象施設をどうするか
- 業務範囲をどうするか



料金

- 使用者が支払う料金について、他処理区との整合性をどうとるか
- 市と運営権者の料金徴収 実務と配分方法



改築工事

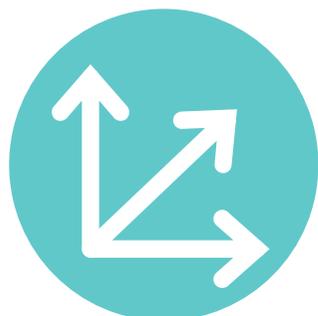
- 補助事業の中で自由な提案
- 単年度での運用が原則だが、複数年度(5年程度)で審査・申請可能か



制度

- 提案内容によって変わる事業モデル
- 公共性の確保

浜松型にカスタマイズ



事業範囲

対象は浄化センター×①
ポンプ場×②
経営・改築・維持管理を
一体化



改築工事

ワンストップ改築体制
計画・設計・施工を一括して委ねる
戦略的な改築の実施が可能

全体設計による柔軟性
発注時期・ロット・工期の自由度増



料金

下水道料金は市内同一価格
一定の割合を乗じた額を運営権者へ

料金の支払いは従前どおり
運営権者は市へ委託、上下水道一体徴収

運営権者の費用負担

経営・維持管理費用は全て
改築費用は1/10



制度

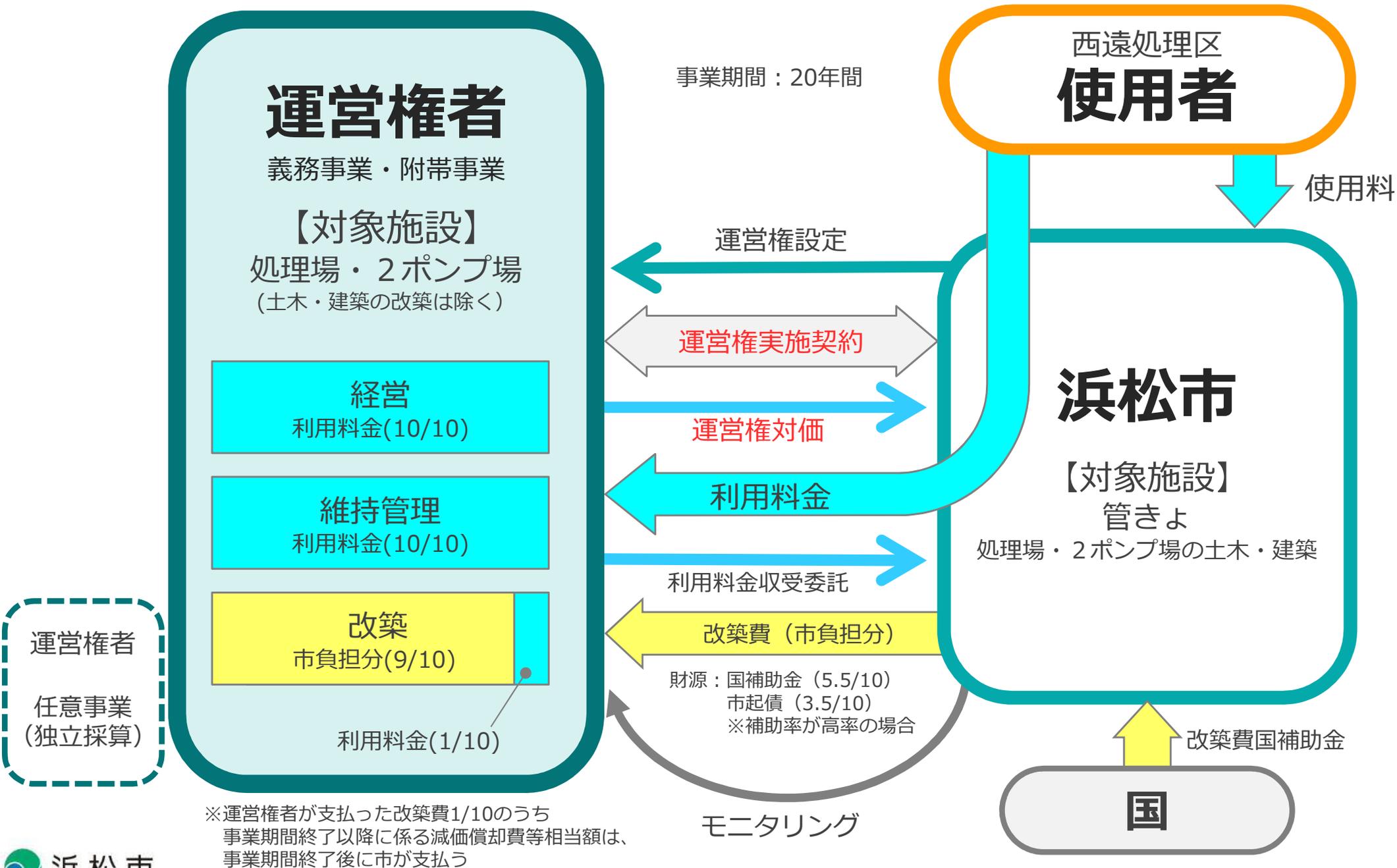
運営権対価提案方式

提案により収支構造が異なった場合も
運営権対価を定量的に評価

三つの監視で事業をチェック

公共性が高くモニタリングが重要

- ・セルフモニタリング
 - ・市によるモニタリング
 - ・第三者モニタリング
- 事業期間を通して実施



2者から応募があった。

いずれのグループの提案も優れていた。

Aグループ

ヴェオリア・JFEエンジ・オリックス
・東急建設・須山建設グループ



SPCが運転維持管理を直接実施することにより自力執行力を高めることによる「効率化」や「創意工夫」、地元企業との協業を通じた「地域経済との調和」についての具体的な方策を提案。

Bグループ

日立・ウォーターエージェンシー
グループ



SPCの効率的な運転維持管理に関する提案と共に、「安定」「改善」「創出」を基軸とした下水道事業の運営に関する具体的な方策を提案。

競争環境の確保

応募者が複数あって競い合うことが重要

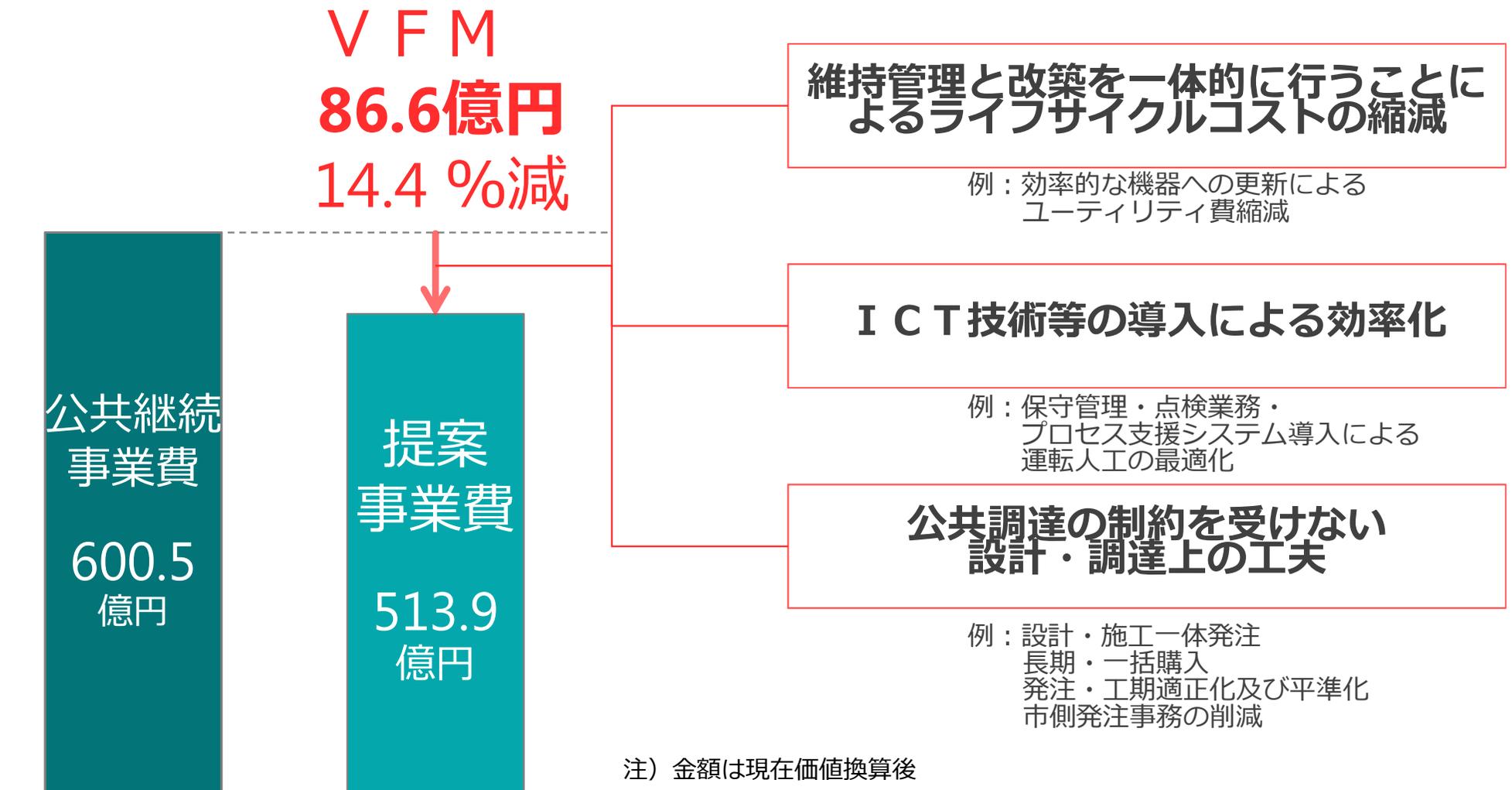
情報の非対称性の解消

情報を出来る限りオープンに
投資コストとリスク判断について予見可能高
既存事業者有利にならないように

効率的運営への動機づけ

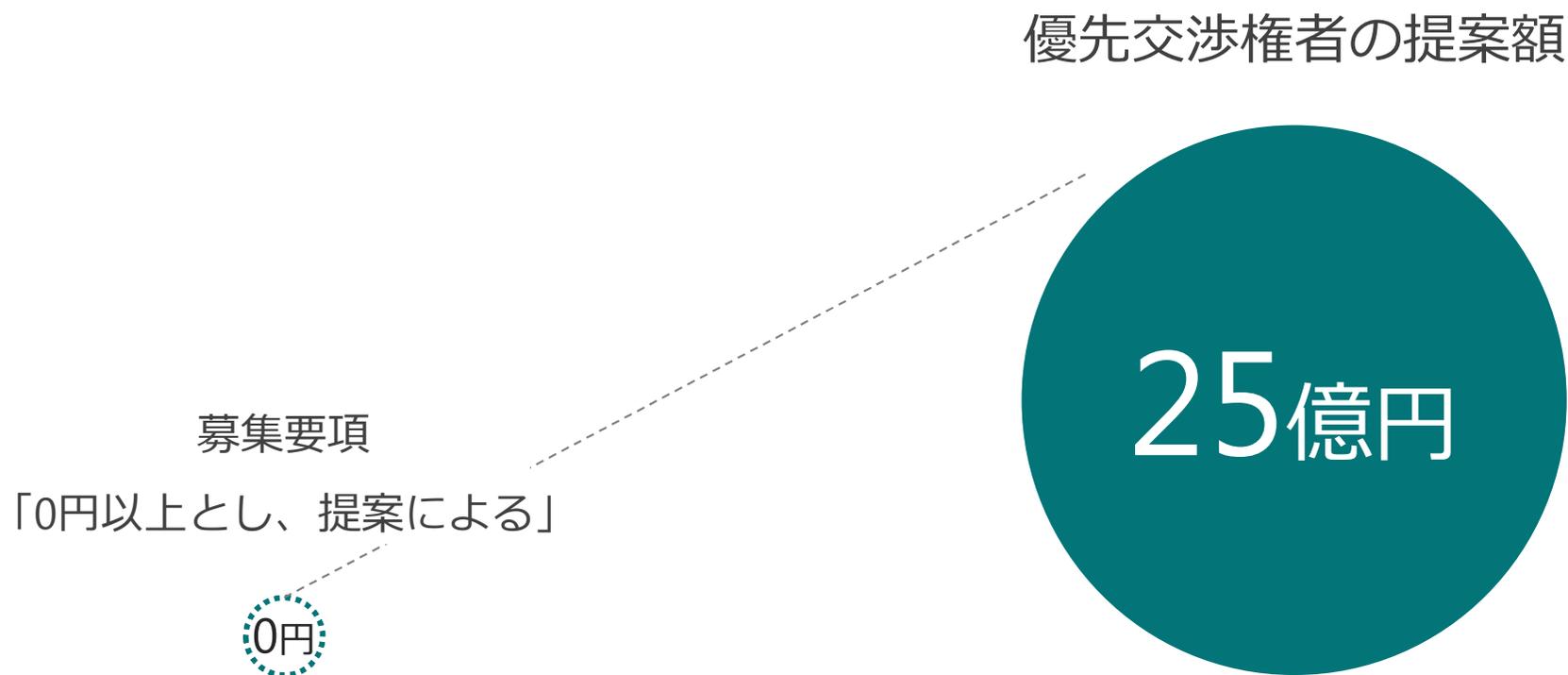
頑張らないと損する仕組み
運営権対価を事業開始当初から支払い
改築費の一部を負担

効果1 事業費総額の縮減



民間の活力や創意工夫を活かした事業運営が V F M の源泉
使用者負担のみならず国費も縮減

効果2 運営権対価



0円以上とした運営権対価、**25億円**に
いずれのグループの運営権対価提案額も市が定めた基準額を上回っていた。

地域に根差した事業運営

地元産業への貢献

浜松特産うなぎの養鰻パイロット事業

国際下水道セミナー開催

地域との連携や協働

平成30年4月1日
事業開始

月例報告会
モニタリングの様子



事業開始式典の様子



写真提供: 浜松ウォーター・ソリューションズ(株)

モニタリングにより
適正に業務が履行
されるように監視

**地域特性を活かした
カスタマイズ**

官でも連携

ご清聴ありがとうございました

【詳しい情報は】浜松市ホームページ



<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/suidow-s/suidou/kanamin/index.html>

【お問い合わせ】浜松市 上下水道部 上下水道総務課 官民連携グループ

 053-474-7019

 suidow-s@city.hamamatsu.shizuoka.jp